

SFC 研究所所長 殿

SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書（2019年度）

ラボ名称	xSDG・ラボ					
ラボ代表者	氏名	蟹江 憲史	所属	政策・メディア研究科		
ラボ設置期間	2017年10月1日		～	2020年9月30日	3	年間

構成メンバー（提出時点）		
氏名	所属・職位	役割
蟹江 憲史	政策・メディア研究科 教授	代表・統括
植原 啓介	環境情報学部 准教授	ICTとSDGs
加藤 文俊	環境情報学部 教授、政策・メディア研究科委員長	地域活性とSDGs
川本 充	政策・メディア研究科 特任講師	企業とSDGs
国谷 裕子	政策・メディア研究科 特任教授	SDGsの実施、ラボの研究成果発信、情報発信
佐久間 信哉	政策・メディア研究科 特任教授	地方自治体とSDGs
田中 浩也	環境情報学部 教授	デジタルファブ리케이션とSDGs
高木 超	政策・メディア研究科 特任助教	地方自治体とSDGs
玉村 雅敏	総合政策学部 教授、SFC研究所所長	地域活性とSDGs
寺田 好秀	政策・メディア研究科 特任助教	企業とSDGs
村井 純	環境情報学部 教授	IoTとSDGs
吉崎 仁志	環境情報学部 准教授	指標とSDGs

年次活動実績報告

研究活動報告 (設置申請書、継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。)

別添資料参照

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

別添資料参照

SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書（2019 年度）

ラボ名称：xSDG・ラボ

ラボ代表者：

氏名；蟹江 憲史 所属・職名；政策・メディア研究科 教授

設置期間；2017 年 10 月 1 日～2020 年 9 月 30 日 3 年間

年次活動実績報告

研究活動報告（設置申請書，継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。）

xSDG・ラボでは、多様で複雑な社会における問題解決をSDGsという切り口で実現するためのトランスディシプリナリーな研究を実施し、出版物やウェブサイト等を行うことで、積極的な成果発信することを目的とする。本活動の推進にあたっては、学生および研究コミュニティと連携しながら、共同研究課題による外部資金獲得・導入により、産官学連携による推進体制とする。

2019年度の活動実績は次のとおりである。

● 「企業×SDG」として、企業との共同研究の実施

株式会社良品計画：感じ良い社会の実現に向けた SDGs の戦略的実現モデルの創出

SDGs による良品計画商品の分析・評価。おもな活動は次のとおり。

- ・ 分析方法論の刷新
- ・ SDGs を活用した商品分析ツールを開発する試みを実践
- ・ 定例会合実施

国際航業株式会社・ESRI ジャパン株式会社：

日本版 SDGs の指標検討及び GIS を活用した指標の可視化

日本の地方自治体で必要とされる SDGs の指標を可視化し、政策の改善にむけた支援を行うことを目的としている。可視化に向けた具体的な方法、及び適切な指標の検討に取り組んだ。おもな活動は次のとおり。

- ・ 政策の改善に必要な指標の選定
- ・ 選定した指標の実装

株式会社 TREE：金融アセスメントフレームワークツールを使用した実装モデルの構築

- ・ xSDG コンソーシアム分科会「金融アセスメントプラットフォーム分科会」への協力

楽天株式会社：「サステナブルな買い物」の実現に向けた商品選定基準の策定

SDGs の観点から持続可能性が高い商品をオンラインショッピングサイト「Earth

Mall with Rakuten」に掲載すべく、商品を選定する際の選定基準を策定することを目的としている。これまでのオンラインショッピングサイトでは、十分に提供されていなかった商品情報を消費者に提供することで、消費者がサステナビリティについて考え、「未来を変える買い物」を実現させる環境を創出させていくことを目指す。おもな活動は次のとおり。

- ・ 商品選定基準の策定に向けた分析
- ・ キークエスチョンの選定

● 「自治体×SDG」として、自治体との共同研究の実施

静岡市：静岡市における5大構想のターゲットと指標作成に関する研究

SDGsによる静岡市5大構想を対象とした指標整備。おもな活動は次のとおり。

- ・ 「5大構想」の「健康長寿のまちづくり」構想について、SDGsをどのように組み込んでいくのか、という課題について検討
- ・ 静岡市5大構想をSDGsの観点から整理し、SDGsの達成に貢献している政策/施策を明らかにする「整理」
- ・ 処方箋策定に向けた方法論

豊岡市：

地域研究（持続可能な地域づくりに向けた分析と実践）

人口減少が進む豊岡市において、今後の地域づくりの課題をSDGsの視点で調査・研究を実施。おもな活動は次のとおり。

- ・ 但東中学校における「ふるさと教育」と連携し、「SDGsワークシート」開発のため、住民へのインタビュー調査実施とその分析結果の発表（2019年7月29日、12月10日）

● 企業および自治体を対象とした情報発信・マッチングのプラットフォームとして、「xSDGコンソーシアム」の運営

※ 詳細は、xSDGコンソーシアム2019年度年次活動実績報告書を参照

● 2019年度活動報告会（一般公開）

※ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大の影響を受け、開催延期

日時：2020年2月26日（水） 14:00-18:00

会場：慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

来場者数（予定）：144名

総合司会：佐久間 信哉（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授）

主催者挨拶	
14：00-14：10	蟹江 憲史（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、 SFC 研究所 xSDG・ラボ代表）
分科会成果報告 モデレータ：蟹江 憲史	
14：10-14：55	金融アセスメントプラットフォーム分科会セッション 池田 賢志 （金融庁チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー） 清水 倫（三井住友銀行成長産業クラスター部長代理） 水野 雅弘（株式会社 TREE 代表取締役）
15：00-15：45	プラスチック問題分科会セッション 日本航空株式会社 井上 雅博（株式会社コバヤシ技術研究所 所長） 太田 裕子（神奈川県 SDGs 推進担当部長）
（休憩 15：45-16：00）	
共同研究報告セッション モデレータ：国谷 裕子（慶應義塾大学政策・メディア研究科特任教授）	
16：00-17：00	株式会社良品計画 「感じ良い社会の実現に向けた SDGs の戦略的実現モデルの創出」 国際航業株式会社・ESRI ジャパン株式会社 「日本版 SDGs の指標検討及び GIS を活用した指標の可視化」 楽天株式会社 「サステナブルな買い物」の実現に向けた商品選定基準の策定」 静岡市 「静岡市政への SDGs 組込に関する共同研究」 豊岡市 「地域研究（持続可能な地域づくりに向けた分析と実践）」
パネルディスカッション モデレータ：国谷 裕子	
17：00-18：00	蟹江 憲史 村井 純（慶應義塾大学環境情報学部教授）

● シンポジウム実施、ORF や外部イベントへの参加

**慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ、xSDG コンソーシアムシンポジウム in NY
Business Evaluation × SDG Beyond UNGA2019**

日時：2019年7月16日（火）9：30-11：30

場所：Japan Society（333 E 47th St, New York, NY 10017 アメリカ合衆国）

パネリスト：蟹江 憲史、黒岩 祐治（神奈川県知事）、Elizabeth Boggs Davidsen（Director, SDG Impact, UNDP）、Howard Li（Manager, Sustainable Finance Programme, UN Global Compact）、Olga Emelianova（Executive Director, ESG Research, MSCI）

『SDGs 実施指針』改定に向けたステークホルダー会議（運営事務局として参加）

日時：2019年9月6日（金）10：00-17：30

場所：国際連合大学 本部（東京都渋谷区神宮前5丁目53-70）

- ・ 「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針改定に向けた提言（2019年9月 SDGs 推進円卓会議構成員有志）」を『『SDGs 実施指針』改定に向けたステークホルダー会議』（2019年9月6日国連大学、主催：SDGs 推進円卓会議構成員有志（運営事務局：慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボほか））のとりまとめに参加

慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ, xSDG コンソーシアムシンポジウム in NY Essence for Successful Actions towards Achieving the SDGs

日時：2019年9月23日（月）13：00-15：00

場所：Japan Society（333 E 47th St, New York, NY 10017 アメリカ合衆国）

パネリスト：蟹江 憲史、Stefan Jungcurt（International Institute for Sustainable Development: IISD）、宮田 千夏子（ANA ホールディング株式会社 コーポレートコミュニケーション室 CSR 推進部 部長）、小林 正忠（楽天株式会社常務執行役員、CWO（Chief Well-Being Officer））、静岡市

SFC Open Research Forum 2019 出展

セッション	日時：2019年11月23日（土・祝）10：30-11：00 場所：東京ミッドタウン4階カンファレンス ROOM7 テーマ：「第四次産業革命と SDGs」 パネリスト：蟹江 憲史、池田 賢志（金融庁チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー）、川廷 昌弘（グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン SDGs タスクフォースリーダー、神奈川県顧問（SDGs 推進担当））、小林 正忠（楽天株式会社常務執行役員、CWO（Chief Well-Being Officer））、村井 純
Pitch	日時：2019年11月23日（土・祝）15：00-15：15 場所：東京ミッドタウン・イースト B1F ホール
展示	日時：2019年11月22日（金）・23日（土・祝） 場所：東京ミッドタウン・イースト B1F ホール A ブース No.E02

● 『SDGs 白書 2019』（日本語版）発刊

編者：慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ

発行：インプレス R&D

電子書籍版フォーマット:EPUB3/Kindle Format8

印刷書籍版仕様：B5 判/カラー+モノクロ/本文 204 ページ

<https://nextpublishing.jp/isbn/9784844378242>

● 『Japan's SDGs White Paper 2019: Abridged English Edition』（『SDGs 白書 2019』英語版、要約版）発刊

編者：慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ

発行：インプレス R&D

電子書籍版フォーマット:EPUB3/Kindle Format8

印刷書籍版仕様：B5 判/カラー/本文 88 ページ

<https://nextpublishing.jp/book/11311.html>

● 2019 年度年次報告書（2020 年 6 月予定、xSDG コンソーシアムと連動）

（目次予定）

代表総括

コンソーシアム・ミーティング開催記録（第 1-3 回）

分科会活動報告

金融アセスメントプラットフォーム分科会

プラスチック分科会

ニュースレター（第 1-8 号）

共同研究報告

株式会社良品計画：感じ良い社会の実現に向けた SDGs の戦略的実現モデルの創出

国際航業株式会社・ESRI ジャパン株式会社：

日本版 SDGs の指標検討及び GIS を活用した指標の可視化

楽天株式会社：『サステナブルな買い物』の実現に向けた商品選定基準の策定

静岡市：静岡市における五大構想のターゲットと指標作成に関する研究

豊岡市：地域研究（持続可能な地域づくりに向けた分析と実践）

会員原稿（VSP-S（S 会員）および VSP-D（D 会員）、VSP-LG（自治体会員）対象）

以上